

別記様式(第7条関係)

会 議 録

- 1 会議名称 富士川町総合教育会議
- 2 会議日時 令和4年7月13日(水) 10時00分～10時40分
- 3 開催場所 富士川町教育文化会館 3階会議室
- 4 出席者数
  - (1) 主宰者側 4名 望月町長、早川政策秘書課長、政策秘書課 秘書担当リーダー 松住、秘書担当 石原
  - (2) 教育委員会 10名 古屋教育長、秋山教育長職務代理者、大森教育委員、中村教育委員、保坂教育委員、中込教育総務課長、井上生涯学習課長、齋藤中学校統合準備室長、中学校統合準備室担当 乙黒
  - (3) 傍聴者 なし
- 5 発言の内容(進行：政策秘書課長)

○町長あいさつ

令和4年2月8日に総合教育会議を実施する中で、新たな中学校の令和5年4月の開校を見送りながら、保護者の皆様や児童生徒、また、学校現場の皆様の声をしっかりともう一度拾い上げて、どのような意向なのかということをご丁寧な聞いていき、そして、統合のあり方について改めて検討していこうという意思確認をいたしました。

その後、アンケート調査、また、3か所での対話集会を実施した結果をもって、これらに寄せられたご意見、また、これまでの経過を踏まえながら、中学校の統合の方向性について、改めて皆様とともに、議論を進めていきたいということで、本日、総合教育会議を開催いたしました。

ぜひ、未来の子どもたちのために、実りの多い会になることを期待申し上げまして、皆様の忌憚ないご意見をいただけることをお願いし、甚だ簡単ではございますが、わたしからのあいさつといたします。本日はよろしくお願いいたします。

○協議事項（座長：望月町長）

（１）中学校統合の方向性について

【町長】

それでは協議事項に入ります。まずは、（１）中学校統合の方向性について、中込教育総務課長お願いいたします。

【教育総務課長】資料「中学校統合の方向性について」

それでは説明させていただきます。お手元の資料をご覧ください。

昨年度末から４月にかけて児童生徒・保護者・教職員、また連休明けには地域住民の方々にアンケート調査を行いました。

児童生徒につきましては、これまで新しい中学校の校名や制服などのアンケートを行いました。「両中学校が一緒になると知ったときにあなたはどう思いましたか」という質問につきましては、「期待していた、楽しみにしていた」という回答が36.8%、「心配であった、不安があった」が34.4%、「わからない」という回答が28.8%でありました。それぞれおよそ3分の1ずつの意見となりました。

保護者・教職員、また、地域住民の方々に、「新たな中学校を設置することをどうお考えになりますか」という質問をしました。保護者・教職員の方々の回答は、「理解できる」30.7%、「概ね理解できる」37%、「理解できない」12.4%、「どちらとも言えない」19.9%となりました。町民の方々の回答は、「理解できる」42.9%、「概ね理解できる」31.3%、「理解できない」14.2%、「どちらとも言えない」11.6%でした。「理解できる」と「概ね理解できる」という回答を合わせると3分の2以上という結果となりました。

また、その後、6月の下旬になりますが、3か所におきまして、対話集会を行いました。その対話集会では町長が出席する中でそれぞれ保護者・教職員、また、地域住民の方々のいろいろな質問やご意見をいただきました。

代表的なものをいくつか紹介させていただきますと、「中学校の統合はなぜ必要なのか」、また、「統合するかどうかはいつ決められるのか」、「少人数学習はどうなっていくのか」、といった質問、また、意見といたしましては、「統合は理解できるが校舎が遠くなるなら反対という声もあることをわかってほしい」、「統合するメリットを最大限に活かしてほしい」、「アンケートで不安だと答えた子供たちの思いを少しでも取り除いてあげられるよう、交流の場を持てるような機会を与えてあげてほしい」など、様々な意見をいただきました。

このような意見をまとめたものを町長や教育委員の皆様に見ていただいた上で、本日の会議で皆様のご意見をいただきたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。

#### 【町長】

ありがとうございます。それでは、アンケート調査の結果、また、対話集会を経験された中で、まずは統合するのকাশないのか、ということについて意見交換をしたいと思ひます。場所と時期ということは、統合の方向性が決まった後に議論していくのですが、まずは、統合するのকাশないかということを中心に、また、それ以外のご意見でも構いませんので、忌憚のない意見交換ができればと思ひます。

#### 【教育委員】

対話集会を受けて、やはり、多種多様な意見があるという感想です。少子高齢化が進む中、今後さらに生徒数が減ってしまうということですが、やはり幼稚園、小学校、中学校と十年以上も同じ人たちの中でやっていくということはどうなのかと思ひます。

第二次富士川町学校規模適正化基本方針にありますように、いろいろな人間関係を築いて切磋琢磨し、協調性や社会性を育む機会を確保できる教育環境を整備することが必要だと思ひます。富士川町の中学生たちが、大学や社会に出たからのことを考えますと統合は必要であると思ひます。

#### 【教育委員】

対話集会では、児童生徒の保護者の皆様の関心が非常に高いということがわかりました。そして、地域の方々も数十名来ていただいているいろいろなご意見をいただく中、町長や教育長から趣旨について説明がありました。

こうした中、やはり中学生というのは、いろいろな人の中で、いろいろな生徒から影響を受けて成長していくことが大事だと思ひました。小さい学校には小さい学校なりのいいところもあるのですが、やはり中学生になれば、いろいろな子どもたちから刺激を受けて成長していく、それが重要だと思ひております。

そういう趣旨で、クラス替えができる規模という形は賛成ですし、統合の必要性も強く感じております。

#### 【教育委員】

私も対話集会に参加させていただきまして、多くの保護者の皆様、また、地域の方々のご意見を伺う中で、概ね保護者の皆様も統合することについては賛

成のように見受けられました。

統合については、いろいろな考え方があります。やはり、小さい学校には小さい学校の良さもあるし、それから大きい学校で切磋琢磨することも良いということがございますが、やはり、中学校の多感な時期にいろいろな友達関係を作ることはすごく大事なことだと思います。保護者の皆様もそのことについてはよく理解しているように思います。私も統合をしていくことについては賛成です。

## 【教育委員】

基本的に統合というのは、私たち教育委員会でかなり議論を重ねて、統合という方向で結論を出した経過もありますし、3回の対話集会やそれ以外で学校訪問を行ってきた中でも、やはり統合の必要性を感じております。

統合することは将来の両方の中学校にとって非常に大事なことで、さらに、次には小学校のことを考えていかなければならない時期が来るわけですから、統合に関するいろいろな意見を拾っていくということもいいことだと思います。

統合について理解できるという方が3分の1以上いますが、生徒の人数の減少ということを理解してのことだと思います。ただ、理解できると言いながらも場所とか時期とかその形について、まだ曖昧な部分があると思っている町民並びに保護者、教職員は多いと思うので、ここから先はそこをはっきりさせた上で、もう一度、これまでよりも踏み込んだ形のアンケートにしていくことが大事ではないかと思います。

統合ということに対して我々教育委員会には、これまでの議論の中で、欠けていた観点が一つあったのではないかと思います。それは、これまでの議論の中では、あくまでも子どもたちのためということを念頭において、教育理念ということに基づいて議論をしてきましたので、予算とか財政のことといった観点がなかったのではないかと思います。

これまでの日本全国の学校の統合の経過を見ていきますと、教育理念という観点に立った統合と、もう一つ、財政というものを健全化させるための統合という二つがあったような気がします。財政的立場に立った統合と教育理念による統合とでは、同じ統合でも中身が違ってくることがあります。

私たちは財政的どころではなく教育理念で統合の議論を進めてきました。教育委員会としてはそれが当たり前だとも思うのですが、ただ、財政とのぶつかり合いというのはどこであったかということやはり場所の問題、新しい学校の場所をどうするのかということところです。

この問題については、これから財政的に考えていくにあたって、議会もいろ

いろいろな意見があるだろうと思いますし、どこかで財政との意見のぶつかり合いがあるかもしれませんが、そのときには、やはり、私たちは教育理念ということを表にした中で議論していかなければならないと考えます。そして、このことを我々教育委員自身が明確に認識しておかなければならないと思います。

#### 【教育長】

私は今回のアンケート調査の実施、それから、その後の三つの会場での対話集会を実施していく中で、町民の皆様が、富士川町の未来を託していく子どもたちのことを本当に真剣に考えていただいているということを実際に肌で感じさせていただきました。

町民の皆様から、本当に誠実なそういった思いを対話集会の中でお寄せいただいたこと、そして、町長と教育委員会がしっかりとその思いを受けとめながらお話をさせていただいたということがたいへん大事であったと考えており、対話集会を実施したことの意義というのは大きかったと私は捉えております。

対話集会の中の意見では、子どもたち1人1人のことを考えたとき、少人数学級がいいという意見もございました。それから、小中一貫の教育に触れた方々も、誠実な思いとして意見を出されました。また、適正化基本方針の内容を十分理解して、新たな中学校の設置に大きな可能性を感じていて、積極的に賛成をしてくれた方や、子供たちのためには、現状の学校教育にも非常に魅力を感じているという意見もありました。

中学校という思春期を迎える時期を考えたり、学校の人数のことを考えたりすると、やはり統合に踏み切らなくてはならないということも理解ができるという方、また、やむを得ないと思っている方々もいらっしゃいます。

さらに、アンケート調査においてご意見をお寄せいただいた方々の思いなどを考え合わせますと、やはり統合ということにつきましては、概ねご理解をいただいたと私は考えます。

#### 【町長】

ありがとうございます。今それぞれの方々のご意見の中で統合については概ねご理解をいただいた、統合については賛成という意見でした。

場所と時期ということはこれから議論をしていくのですが、まずは、「統合していく」という方向性について、この会議で決定したいと考えておりますが、いかがでしょうか。

#### 【教育委員】

(異議なし)

**【町長】**

ありがとうございます。それでは統合については前に進んでいくということ  
でございます。

対話集会を実施したことによって本当に思いもよらなかった、今まで見えな  
かった部分の声を聞かせていただきました。

そして、皆で一緒に真摯に子供たちのことを考える、そういった機運ができ  
てきたと感じており、また、概ね統合について理解していただけたのではない  
かと思っております。

まさに民主主義の根幹はこういった議論を重ねた上で、一つ一つ丁寧に物事  
を決めていくということだと思っております。そういった意味で、対話集会、  
また、アンケート調査の実施は、本当に意義のあるものであったと感じており  
ます。

皆様には、本当にご苦勞をおかけしましたが、ご協力いただきありがとうございます  
ございました。

それでは、今後の進め方につきまして、教育委員会事務局よりお願いいたし  
ます。

**【教育総務課長】**

それでは、今後の進め方についてです。

まず、本日の総合教育会議で決められた内容を町議会へ報告させていただきます  
ます。

7月下旬から8月にかけて、児童生徒、保護者、教職員向けのアンケート調  
査を実施していきたいと考えております。

その中では、先ほど委員の皆様のご意見にもありますように、新たな中学校  
の開校時期や場所について、聞いていきたいと考えております。

その後、9月下旬ぐらいを目標に、新たな中学校の方針案を作り、もう一度  
総合教育会議を開いてご意見を伺いながら、その案を確定させた中で、10月  
には、もう一度対話集会という形で、保護者や地域住民の方々にその方針案を  
お示ししながら意見を伺い、最終的に統合の方針を決定していきたいと考えて  
おります。

**【町長】**

ありがとうございます。時期や場所についてのアンケート調査を実施し、9

月下旬には、総合教育会議を開いて、今度はしっかりとしたある程度の方向性を示した素案を作っていくというスケジュールでございます。

まだまだ道半ばでございます。皆様には本当にご苦勞おかけしますが、町の子どもたちのため、未来の教育の方向性を決める大事な会議ですので、ご協力をお願いします。

#### 【教育長】

この統合につきましては、いろいろな面でご心配されている方々や、反対されている方々もいらっしゃいます。そういった方々は、本当に誠実な思いの中で、その思いを届けてくださったと感じております。

これから具体的なお話をしていく中で、解決していく問題もいくつか出てくると思うし、ご納得いただけることもあると思っておりますが、その中でうまく解決ができないことにつきましては、できるだけ丁寧に、また細やかに対応していきながら、思いに添うことができるよう、鋭意努力をしていきたいと考えております。

それが町長の目指してきた対話集会の基本的な姿勢だと思います。そして、会議の中で出されておりました、夢のある、希望の持てる良い学校づくりに期待されている皆様の思いにできるだけ応えていけるように、みんなで力を合わせていきたいと思っておりますのでどうぞよろしくお願い致します。

#### 【教育委員】

不安を持っている方の中には、聞くところによると、鯉沢中の方々の少数が、増穂中の大人数の中に入るということで、どちらかというところ統合というよりも吸収されるような感じで受け取っているような方もいらっしゃいます。

新しい学校は新しい形でスタートするというものであるということ、そして、先ほど教育長がおっしゃられたように、子どもたちが夢と希望の持てる新しい学校をつくるという方向で話を進めていきたいと思っております。

そして、それが富士川教育というものを構築する基本となるものであると考えております。

#### 【教育委員】

教育委員会は教育理念、町当局や議会は財政的なことが念頭にある、そして、そこから来るせめぎ合いの話をしてきましたが、今回の統合の検討においてもその部分はあったと思っております。

学校の統合ということだけでなく、それに絡んで、町民体育館の問題、それから増穂小学校の修築の問題、増穂中学校の校舎が古くなっているという問題

もあります。そういう問題は、安心安全という面からは教育理念の問題ですが、これは非常にお金がかかる問題で、どうしても教育理念だけではなく、最終的には、財政的見地をもって考えなければならない問題でもあります。

我々の手の届かないところの問題がそこにあったのだということを、我々はもう少し気が付くべきであったと思うのです。そこをしっかりと根に置いて、これからの方向性を出していかなければならないと感じております。

増穂商業高校跡地という場所だけで言えば、旧増穂と旧鯉沢のちょうど中間なので場所的には納得できる場所だと簡単に考えてしまった部分もあったと思います。

やはり教育委員会の中でも、増穂商業高校跡地を使うことに対して、無理ではないかという意見や、新しい学校を作るのであれば、新しい校舎でやっていくべきだという意見もありましたが、結果的には、財政的などころを頭に入れたせめぎあいの中で、落とし所として、増穂商業高校跡地と考えてしまったのかもしれない。

この問題は確かに、体育館や小学校の修築のことなどを考えたときに、うまく落とし所を作ろうとしたら、増穂商業高校跡地が落とし所になるのかもしれませんが、今こういう形で仕切り直しをした以上は、やはり我々は体育館の問題も、増穂小修築の問題ももちろん考えて、それを財政当局がどう考えているかということ踏まえながら、次の路線に進んでいくということだと思っております。

そうしたいくつかの問題を一緒に考えていかなければならない財政当局の大変さはよくわかり、そういう中で、統合を実現するということの難しさを、今ひしひしと感じております。

以前は、増穂商業高校跡地が最適かなというふうに思ったこともありました。増穂商業高校跡地はいくつか不備があり難しいという意見もありましたので、もう少しそこを丁寧に考えるべきであったと思っております。

今後の議論の中では、財政当局と教育理念とのせめぎ合いということが、ものすごく大事になってくると考えております。

#### 【町長】

貴重なご意見をいただきまして、ありがとうございます。

夢と希望の持てる新しいスタートに向けて、私は町の執行者という立場の中で、やはり財政的にどういう形が最適なのかということをお考えなければなりません。

そして、ご指摘いただいたとおり、町民体育館、また、小学校の長寿命化ということも絡めながら、どういう組み合わせをしていったらいいかということを考えなければならないのですが、一番は教育理念であって、これをなるべく削らずに進めていくことが大事だと考えております。

財政的なこととのせめぎ合いの中で、いろいろな提案をしながら進める中には、意見がぶつかることもあるかと思いますが、皆様から忌憚ないご意見をいただきながら、良い方向性を見出していけたらと考えております。

#### 【教育委員】

場所の問題と校舎の問題は、今までの話の中でも一番大きい問題であったと思います。

ご意見の中には、場所を提示してから議論をするべきだという意見もありました。これからどういう形で持っていくのか、非常に難しいところですが、子どもたちが新しい中学校に期待している部分も大きいと思いますので、楽しみなことと受け止められるような方向性で進めていけたらと考えております。

また、場所の問題については、先ほど財政の問題という話もありましたが大きい問題だと思いますので、その辺をよく踏まえた上でアンケート調査、また、対話集会を実施していただきたいと思います。

#### 【町長】

統合ということである程度方向付けができましたので、場所ということになってまいります。ある程度方法は絞られてくると思いますし、時期についても、町民体育館や、小学校の改修のことなどを含めた形で絞られてくるのではないかと思います。しっかりと精査した上で、皆様にご提案させていただきながら、方向性を決めていきたいと思っております。

いくつかの方法を考えるにあたっては、あくまでも子どもたちの将来を考えて新しい学校をつくるということが一番の目標にあって、そのためにはこういう方法やこういう方法があるということを町民の皆様にもお示しする中で、最終的に結論を出していけば、どちらの方法になっても納得がいくのではないかと思います。

あくまでも夢と希望のある学校づくりを私たちはしているのだということを皆様にわかっていただけるようにしながら、進めていきたいと思っておりますのでご協力をよろしく申し上げます。

他に意見はいかがでしょうか。

**【教育委員】**

(なし)

(2) その他

**【町長】**

それでは、(2) その他ですが、何かございますか。

**【教育委員】**

(なし)

**【町長】**

それでは、協議事項につきましては、終わらせていただきます。ご協力ありがとうございました。